

主な記事

- 2~3面 令和4年6月定例会の概要
- 4~5面 県議会議員紹介
- 6~7面 県議会のしくみ/各委員会の紹介
- 8面 議会活動の紹介/
県議会からのお知らせ

わかやま 県議会だより

WAKAYAMA PREFECTURAL ASSEMBLY

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で「図書カード」を
10名様にプレゼント!!

Q:和歌山県では、観光産業にとって追い風となるビッグイベントが開催される、令和5年から令和7年の期間を「〇〇〇〇〇〇イヤー」と位置付けています。〇〇〇〇〇〇に入る言葉は何でしょう。

ヒント:2~3面を読んでね。

応募方法:8面をご覧ください。

飛躍する和歌山へ!!!



おざき ようじ
尾崎 要二 議長

いわた ひろひこ
岩田 弘彦 副議長

第50回和歌山県年齢別選手権水泳競技大会（秋葉山公園県民水泳場にて）

新しく議長、副議長に就任した
お二人にお話を伺いました。



尾崎 議長 コロナ禍では県民の皆さんに大変なご苦労をおかけしています。これからは反転攻勢の意味で前を向き、誇れるふるさとを売り出し、様々な好循環をもたらす施策を行っていきたく考えています。また、コロナ禍を経験し、ワーケーションなど都市部から地方への人の流れも生まれているので、その方々の受入れ体制や所得を上げて、地域の定住につながるような政策を議会からも提案しながら県当局と共に取り組みます。

岩田 副議長 コロナ禍でたまりにたまっている観光需要を、本県で受入れできる仕掛けが必要です。

「ポストコロナ」時代に向けた新たな動きをどのようにお考えですか。

尾崎 議長 コロナ禍では県民の皆さんに大変なご苦労をおかけしています。これからは反転攻勢の意味で前を向き、誇れるふるさとを売り出し、様々な好循環をもたらす施策を行っていきたく考えています。また、コロナ禍を経験し、ワーケーションなど都市部から地方への人の流れも生まれているので、その方々の受入れ体制や所得を上げて、地域の定住につながるような政策を議会からも提案しながら県当局と共に取り組みます。

岩田 副議長 このたび県議会副議長を拝命し大変光栄であり、感謝いたしますとともに、責任の重さを痛感しています。コロナ禍により、過密都市のリスクは広く認識され、リモートワークや地方への移住定住について関心が高まっています。今こそ、県内の雇用を確保するとともに、若者の定住や本県への移住を推進すると思えます。そのためにも、本県の自然・文化・スポーツなどに親しみ、楽しく子育てができる環境をつくっていくことが重要と考えています。

尾崎 議長 公正公平な議会運営はもちろんです。同時に各議員にはなお一段努力をいただき、現場の声、県民の声をよく聞いた上で活発な議論が展開されるよう、県議会の活性化を図っていきたく考えています。

岩田 副議長 二元代表制として知事も私たち議員も県民から直接選ばれており、お互い県民の代表として対等な立場で議論するとともに、尾崎議長をしっかり補佐し、円滑で切磋琢磨する議会運営を行っていきます。

尾崎 議長 県民の命と暮らし、財産を守ることが県政で一番大切です。平成23年には紀伊半島大水害を経験しましたし、東南海・南海地震はいつ発生するか分からない中で、引き続き防災・減災、国土強靱化を加速させ、河川改修や地すべりなどの災害対策や津波対策などを着実に進め、一人の犠牲者も出さないとの思いで今後も強力に取り組みなければなりません。

岩田 副議長 紀伊半島大水害を経験し、東日本大震災の被災地にも多くの議員や県職員が足を運んでおり、その教訓を踏まえた政策を着実に実行していくことが大事です。また、コロナ禍で実践的な防災訓練が行われていないのが心配です。再度、住民の皆さんにも危機意識を持っていただき、災害時においても助け合いができる体制を構築することが大切だと思っています。

尾崎 議長 引き続き取組が求められる災害への備えですが、県民の暮らしを守ることに、どのようにお考えでしょうか。

また、働き方の変化で大都市圏の会社に在籍しながら、地方で仕事（テレワーク）をする「転職なき移住」などの多様な働き方を受け入れるような取組が重要です。



6月定例会の概要

会期 6月2日から6月21日までの20日間

会期中の主な動き

- 議長及び副議長の選挙 ……6月3日
- 委員及び正副委員長の選出（常任委員会、予算特別委員会及び議会運営委員会） ……6月3日
- 関西広域連合議会議員の選挙 ……6月3日
- 特別委員会の開催（人権・少子高齢化問題等対策特別委員会）… 6月13日
（防災・国土強靱化対策特別委員会）… 6月14日

6月10日(金)				6月13日(月)			
濱口 太史	川畑 哲哉	秋月 史成	奥村 規子	玄素 彰人	岩井 弘次	鈴木 徳久	杉山 俊雄
6月14日(火)				6月15日(水)			
山家 敏宏	中西 徹	楠本 文郎	片桐 章浩	森 礼子	谷口 和樹	林 隆一	谷 洋一

議決結果・意見書等

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	令和4年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(//)	6件	和歌山県税条例の一部を改正する条例等	可決
人事案件(//)	3件	和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて等	同意
その他案件(//)	7件	令和4年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
知事専決処分報告(//)	1件	訴訟の提起について	承認
意見書	8件	緊急事態に関する国会審議を求める意見書	可決
		地方における鉄道ネットワークの維持を求める意見書	
		国民健康保険等の第三者行為求償事務の充実・強化を求める意見書	
		地方財政の充実・強化に関する意見書	
		地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書	
		環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書	否決
		コロナ危機と物価高騰から暮らしと営業を守る緊急経済対策を求める意見書	
学校給食の無償化を求める意見書			

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

子育て支援

問 新型コロナウイルス感染拡大やロシアのウクライナ侵攻による食料の高騰に対し、子供食堂の運営に関して県はどう支援するのか。

答 県では、子供食堂に対して食料を提供してもらえ、企業や社会福祉協議会等と、子供食堂との連携を強化するためのネットワークを形成し、支援体制を構築します。また、子供食堂の運営者に対し県の取組を情報提供するとともに、多くの方に子供食堂の活動へ参画してもらえるよう、県民の友等あらゆる機会を通じて周知します。

ヤングケアラーへの支援

問 定時制高校をはじめとする教育現場における県教育委員会の今後の取組はどうか。

答 教職員がヤングケアラーの認識を深められるよう、研修等を充実させます。また、全ての児童生徒を対象としたアンケートに、ヤングケアラーに関する質問を加えることで、児童生徒自身がヤングケアラーについての認識を深めることができるように、学校ごとの状況把握が進みます。その上で、定時制高校については、状況をより詳細に把握して、必要な対応や支援を考えていきます。

学習到達度調査

問 全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査を中止してはどうか。

答 これまでも全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査の結果から、課題を分析し改善に取り組んでいます。今年度より、学習内容の定着状況をきめ細かく把握していくためにも、中学生の県の調査を年2回実施します。一方で、一部業務の委託により教員の負担軽減を図っています。

全国や県の調査は、子供たちの学びを確かめるものにする上で重要であることから、引き続き

和歌山IR

問 二代表制の一翼を担う県議会が、IRの議案を否決した事実について、知事の認識はどうか。

答 県当局と議会が車の両輪となつて県政を進めなければならないと考えます。

この二元代表制の下で、互いの機能と役割を尊重し、切磋琢磨しながら県政を推進しており、IR議案の否決は、法律に定める民主的手続によって決定されたものです。

10周年を迎えるインド・マハラシュトラ州との交流

問 インド・マハラシュトラ州への県観光や県産品のPRなど今後の取組はどうか。

答 インド・マハラシュトラ州は大変経済力のある州で、観光や経済をはじめ様々な分野で交流を進めていくことは、本県にとって重要です。また、本県への理解をより一層深めてもらうため、覚書締結10周年を契機に現地語での観光情報や県産品PRに取り組むなど、情報発信力を強化します。

おもてなしトイレ大作戦の徹底

問 おもてなしトイレを「女性バリエーションアップ」してはどうか。

答 トイレがきれいというのは、地域の力の一つ、あるいは、重要なインフラと言えます。これによって観光に来る人も増え、その好感度が移住や立地にもつながり、また、市民の文化・スポーツ・レジャー活動にもプラスになります。

今後市町村に対して、誰もが気持ちよく利用できるトイレの整備について、積極的に働きかけていきます。

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた観光戦略

問 国内外からの誘客に対する知事の意気込みはどうか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で観光産業は大きなダメージを受けましたが、観光産業を支援する「わかやまリフレッシュプランS」のほか、訪日外国人観光客の受入れ再開を受け、海外現地におけるプロモーションの取組を進めています。

また、令和5年「弘法大師空海御誕生1250年」、令和6年「世界遺産登録20周年」、令和7年「大阪・関西万博」の期間をダイヤモンドイヤードとして、コロナ禍からの反転攻勢を目指します。特に令和7年の「大阪・関西万博」に向けて、和歌山へ呼び込む仕掛けをつくり、誘客活動に取り組んでいきます。



熊野古道



高野山

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

問 今後の事業者支援について、交付金の活用も含めどのように取り組むか。

答 新型コロナウイルス感染症の感染状況や、原油・原材料価格高騰の影響など、経済の先行きは不透明ですが、産業別担当者制度等を通じて様々な業種の動向を把握するとともに、当該交付金も活用しながら、必要な支援策を機動的に実施していきます。

中小企業者への支援

問 時短協力金給付事業者が第Ⅳ期の飲食・宿泊・サービス業等支援金の対象から除外されているのはなぜか。

答 時短要請に応じた飲食店に対しては国の制度で時短協力金が支給されますが、その他の業種には協力金の制度がないため、県の独自施策である飲食・宿泊・サービス業等支援金(第Ⅳ期)においては、国の協力金の対象となった事業者は当支援金の対象外とし、一方で協力金の対象でない事業者のうち、売上げが大幅に落ち込んでいる者に対しては、倍額を支給し、より多くの事業者が事業を継続できるよう支援しました。



大阪・関西万博に向けての観光客誘客

問 県は、大阪・関西万博に向け、クルーズ船や空飛ぶクルマの誘致をどう考えているのか。

答 クルーズ船誘致は、これまでも国内外へのプロモーション活動に取り組んでおり、万博と本県への寄港をセットとした周遊プランの提案を行うなど万博開催の2025年を見据えて計画的に取り組んでいきます。

次に、空飛ぶクルマは、技術的課題や法整備等の高いハードルがありますが、万博開催期間中の本県への運航実現に向けて関係機関等との協議を進めていきます。

和歌山南陵高校の運営問題

問 和歌山南陵高校における学校法人の運営全般の在り方について、県はどう考えるのか。

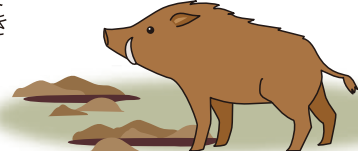
答 学校法人南陵学園の経営悪化に起因した諸問題は、生徒の修学に悪影響を及ぼしかねないと考えています。今後、文部科学省の助言を受けながら、学校法人所轄庁の静岡県と連携を密にし、学校法人南陵学園に対し、生徒の適正な学習環境の確保と健全な育成の場を守るよう強く求めています。

また、就学支援金等については、現地調査等を行い、今後も適正に執行されているかを確認していきます。

鳥獣害対策について

問 イノシシ等の半減や農作物被害の30%低減を目標にした第二種特定鳥獣管理計画の達成に向けた新たな取組をどう考えているのか。

答 狩猟者確保のための様々な研修や、現場での実践的な個別指導を実施しています。また、経験がなくても設置や捕獲が比較的簡単にできる捕獲檻などの開発のほか、ICTとAIを活用した捕獲檻やドローンを使った追い込み猟など、先進的な事例を研究し、市町村や関係機関と協力して、目標の達成に向け取り組んでいきます。



農業者への支援

問 肥料価格高騰の影響を受けると考えるがどうか。

答 今般の肥料価格の高騰は先が見通せず、農業生産に及ぼす影響について危機感を持っていきます。国では、調達国の変更による輸送費の増加などに対する支援や、価格高騰への対策構築について検討を進めています。

今後、新たな対策が打ち出された際に迅速に対応できるよう、引き続き国の動向を注視していきます。

林業振興

問 県は、林業の振興にどう取り組む、今後どうしていくのか。

答 県では、これまで「森林・林業総合戦略」に取り組む、素材生産量は順調に増大し、目標は達成できましたが、製材用材の生産量が伸びていないことや林業就業者の確保が十分でないことが分かりました。

今後5年間で新規就業者を275人確保し、素材生産量を現状より9万立方メートル増の35万立方メートルにするという「森林・林業・新総合戦略」の目標達成に向け、スマート林業をはじめ、素材の生産から流通、加工、販売、担い手の確保・育成における取組を強化・充実します。



無線リモコン操作で重い木材をつかみ、運搬する様子

洋上風力発電

問 洋上風力発電を積極的に導入すべきと考えるがどうか。

答 洋上風力発電は、カーボンニュートラル実現に向けて、国内で期待が高まっています。

一方、本県の海域は、過酷な気象・海象条件にあり、南海トラフ地震や津波なども危惧されます。また、海岸線に自然公園や世界遺産が存在するほか、海運上の重要地点でもあります。

本県沖の立地に関しては、多くの事項について、うまく調整していく必要があると考えています。

用語解説

カーボンニュートラル
二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、全体として排出ゼロを達成する取組

4期16年の県政運営

問 知事は4期16年の実績を踏まえ、次の知事選挙に5期目を目指して出馬し、引き続き県政を担う意思があるのか。

答 いろいろな意見や動きがあることは承知しています。私としてはこのような状況下、悩み抜いた結果、多選は好ましくないこと、県政界における次のリーダーを巡る対立や個人的な理由から、知事としての勤めは今任期限りにしたいという希望を表明します。

これまで私をサポートしていただいた全ての県民の方々に深く感謝するとともに、すばらしい方により、新たな県政が進められることを望みます。

あなたのまちの議員を紹介



選挙区

定数 ○人

氏名 ふりがな

会派委員会

橋本市

定数 3人

中西 峰雄 なかにし みねお 自民 福

中本 浩精 なかもと こうせい 自民 文

岩田 弘彦 いわた ひろひこ 自民 福

伊都郡

定数 1人

堀 龍雄 ほり たつお 自民 福

- 会派凡例**
- 自民：自由民主党県議団
 - 改新：改新クラブ
 - 共産：日本共産党県議団
 - 公明：公明党県議団
 - 無会：無所属の会
 - 維新：日本維新の会
- 常任委員会凡例**
- 委員長 ○副委員長
 - 総：総務委員会
 - 福：福祉環境委員会
 - 経：経済警察委員会
 - 農：農林水産委員会
 - 建：建設委員会
 - 文：文教委員会

QRコードを読み取れば、議員の紹介ページにアクセスし、より詳しい情報を知ることができます。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

紀の川市

定数 3人 (欠員1人)

山田 正彦 やまだ まさひこ 自民 文

杉山 俊雄 すぎやま としお 共産 文

西牟婁郡

定数 2人

東牟婁郡

定数 2人

田辺市

定数 3人

鈴木 太雄 すずき たいゆう 自民 福

新宮市

定数 1人

秋月 史成 あきづき ふみなり 自民 文

谷 洋一 たに よういち 自民 農

鈴木 徳久 すずき とくひこ 自民 農

谷口 和樹 たにぐち かずき 改新 経

濱口 太史 はまぐち たいし 自民 経

高田 由一 たかだ よしかず 共産 総

佐藤 武治 さとう たけじ 自民 建

和歌山市



岩井 弘次
いらい ひろつぐ
公明 経

森 礼子
もり れいこ
自民 建

中 拓哉
なか たくや
公明 建



多田 純一
ただ じゅんいち
公明 文

長坂 隆司
ながさか たかし
改新 農

山下 直也
やました なおや
自民 経

井出 益弘
いで ますひろ
自民 経

岩出市



尾崎 太郎
おさき たろう
自民 総

藤本 眞利子
ふじもと まりこ
改新 農

林 隆一
はやし りゅういち
維新 文

奥村 規子
おくむら のりこ
共産 福

川畑 哲哉
かわばた てつや
自民 総

宇治田 栄蔵
うじた えいぞう
自民 建

新島 雄
にいじま たけし
自民 総

片桐 章浩
かたぎり あさひろ
改新 総

浦口 高典
うらぐち こうてん
改新 福

北山 慎一
きたやま しんいち
自民 経

海南市・海草郡



尾崎 要二
おさき ようじ
自民 総

中西 徹
なかにし とおる
無会 農

藤山 将材
ふじやま まさき
自民 経

有田郡



有田市



玉木 久登
たまき ひさと
自民 農

御坊市



楠本文郎
くすもと ふみろう
共産 建

吉井 和視
よしい かずみ
自民 建

日高郡



富安 民浩
とみやす たみひろ
自民 建

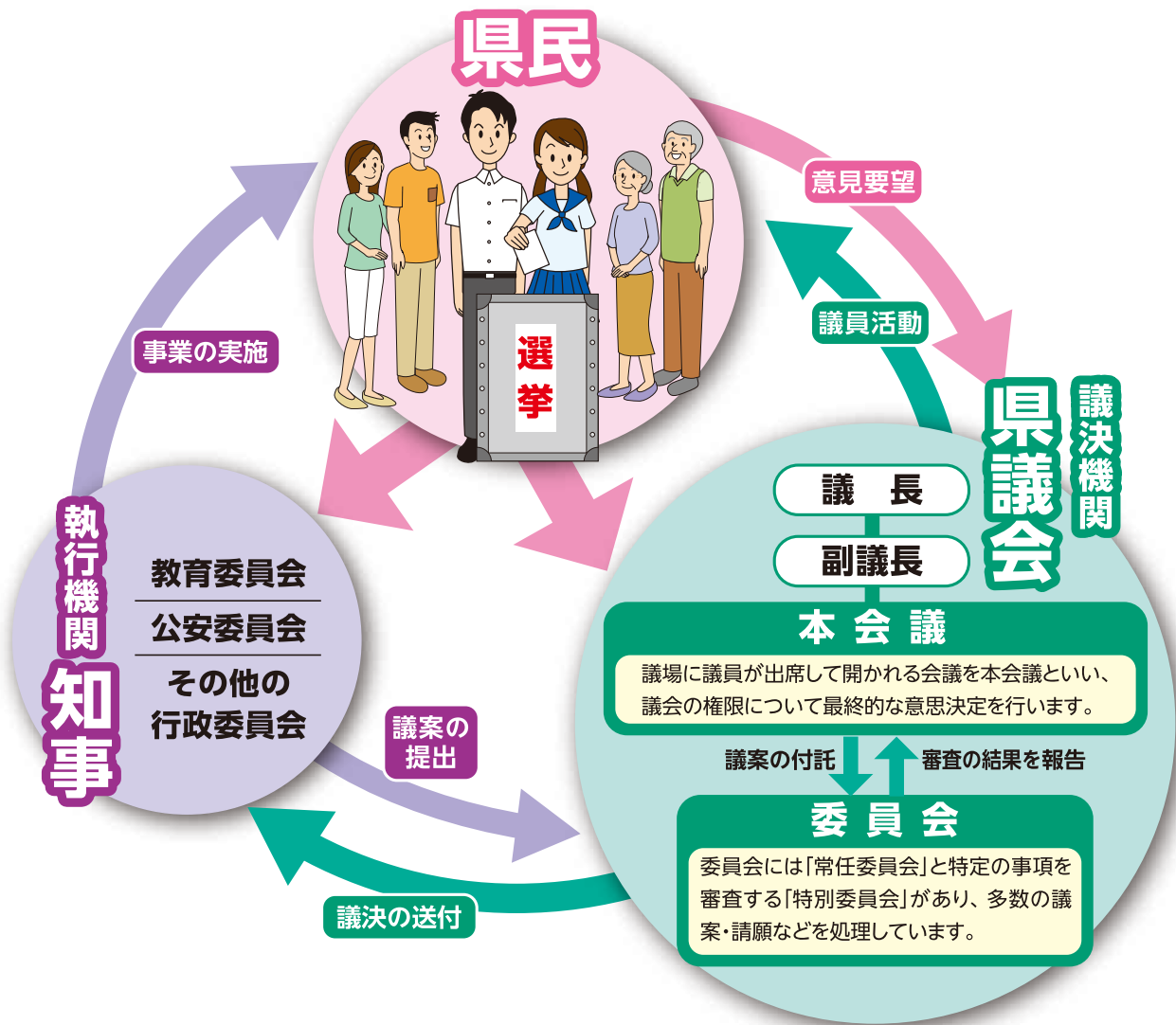
坂本 登
さかもと のぼる
自民 文

玄素 彰人
げんそ あきひと
自民 農

山家 敏宏
やまが としひろ
自民 総

県議会のしくみ

県議会は、県民の皆様が選んだ代表者である議員が、県政を進める上で重要な事項を審議し、決定する「議決機関」です。
それに対して、知事をはじめとする「執行機関」は、県議会の決定に沿って実際に仕事を進めていくところであり、2つの機関は、それぞれの権限と役割が区分され、県政を運営するための両輪となっています。
地方分権が進み、自治体での決定事項が増える中、県民の代表機関、議決機関である県議会の役割は一層大きくなっています。



県議会の仕事

県議会は、法令により多くの権限が与えられています。それにより県政の重要な事項を審議し、進むべき方向を決定する役割をもっています。主な仕事(権限)は、次のとおりです。

議決

条例の制定・改正・廃止、予算の成立、決算の認定、主要な契約の締結など、県政の重要な事項は、県議会の議決が必要です。

選挙

議長・副議長・選挙管理委員会委員などを選挙します。

同意

知事が選任・任命する副知事及び各種委員など県政の重要な職務に就く人の人事については、県議会の同意が必要です。

意見書提出・決議

県民の利益に関する事項について、関係する行政機関や国会に意見書を提出したり、時の社会問題等についての議会の意思を明らかにするため決議を行います。

請願の審査・陳情の受理

県民からの意見や要望を受理します。なお、請願については審査し、その内容が県政にとって有益なときは採択し、知事や関係機関に送付して、その処理の経過及び結果報告を求めます。

調査・検査

県の仕事が適正に行われているかどうか調査・検査します。必要に応じて、関係者から説明・意見を聴取したり、出頭・証言・記録の提出を求めたりします。

議案を議決するまでの流れ

議案は、本会議で質疑されたのち関係委員会に付託され、十分に審査された上で本会議で議決します。

議会で議決する議案の主なもの

予算	知事から提出された1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の見積額のことで。議会で可決された予算をもとに各種の施策を実施します。
条例	県で定める法のこと。議会の議決を得て制定します。条例には県民の権利や義務に関するもの、県政の運営に関するものなどがあり、知事提出のものや議員提出のものがあります。

本会議

- 開会** 議長が会議を開きます。
- 議案提出** 知事または議員が会議の議題(議案)を提出します。
- 議案説明** 提出者が議案について説明します。
- 質疑** 議員が質問をして、知事または関係部長などが答えます。
- 委員会付託** 提出された議案などを詳しく調べるため、委員会に審査を付託します。

委員会

- 付託議案審査** 説明聴取・質疑・採決
付託された議案などを十分に審査した上で、委員会として賛成か反対かを決めます。(修正案を提出することもあります。)

本会議

- 委員長報告** 委員会での審査が終わると、再び本会議を開き、委員会で決まった審査結果を報告します。
- 討論** 委員長報告の後、議案について賛成か反対かの意見を述べます。
- 採決** 議案が十分に審議されると、議長は出席議員に対して賛成か反対かを問い、通常は、出席議員の過半数で可否を決めます。
- 閉会** 全ての議案の採決が終われば、議長が閉会の宣告をします。採決の結果は議長から知事へ送付されます。これをもとにして、知事(執行機関)は仕事を進めていきます。

各委員会の紹介

委員会の役割

本会議
委員会付託
 本会議で提出された議案等を議決に先立って議員が分担して詳しく調べるため、委員会常任委員会または特別委員会に審査を付託します。

審査
 議案等を付託された委員会では、その事務を担当する部長等から詳しい説明を聞き、十分審査した上で、委員会としての賛否を決定します。

委員会



本会議

採決
 委員長が委員会での審査の結果を本会議に報告します。議案等について、議員が賛成・反対の討論をし、多数決で議案等の可否を決定します。

特別委員会

令和3年6月9日 選任・就任

防災・国土強靱化対策特別委員会

(定数11人)

- ◎ 井出 益弘
- 濱口 太史
- 玄素 彰人
- 尾崎 要二
- 富安 民浩
- 玉木 久登
- 佐藤 武治
- 坂本 登
- 浦口 高典
- 杉山 俊雄
- 岩井 弘次

審議内容

防災、減災、迅速な復旧・復興等諸般の災害に関する施策について調査審議します。

人権・少子高齢化問題等対策特別委員会

(定数10人)

- ◎ 吉井 和視
- 谷口 和樹
- 藤山 将材
- 秋月 史成
- 岩田 弘彦
- 山下 直也
- 藤本真利子
- 楠本 文郎
- 中 拓哉
- (欠)

審議内容

人権、少子高齢化問題等に関する施策について調査審議します。

行政改革・基本計画等に関する特別委員会

(定数10人)

- ◎ 尾崎 太郎
- 片桐 章浩
- 山家 敏宏
- 中本 浩精
- 堀 龍雄
- 森 礼子
- 川畑 哲哉
- 新島 雄
- 奥村 規子
- 多田 純一

審議内容

行政改革、県行政に係る基本計画等及び関西広域連合について調査審議します。

半島振興・地方創生対策特別委員会

(定数11人)

- ◎ 山田 正彦
- 高田 由一
- 鈴木 徳久
- 宇治田栄蔵
- 北山 慎一
- 中西 峰雄
- 鈴木 太雄
- 谷 洋一
- 長坂 隆司
- 中西 徹
- 林 隆一

審議内容

半島地域の振興対策及び地方創生に関する施策について調査審議します。

IR対策特別委員会

(定数16人) 令和3年9月28日 選任・就任

- ◎ 藤山 将材
- 多田 純一
- 井出 益弘
- 玄素 彰人
- 秋月 史成
- 富安 民浩
- 玉木 久登
- 吉井 和視
- 佐藤 武治
- 山下 直也
- 山田 正彦
- 浦口 高典
- 片桐 章浩
- 楠本 文郎
- 高田 由一
- 中 拓哉

審議内容

IRに関する施策について調査審議します。

予算特別委員会

(定数20人) 令和4年6月3日 選任・就任

- ◎ 森 礼子
- 堀 龍雄
- 鈴木 徳久
- 山家 敏宏
- 宇治田栄蔵
- 北山 慎一
- 玄素 彰人
- 秋月 史成
- 富安 民浩
- 川畑 哲哉
- 鈴木 太雄
- 佐藤 武治
- 坂本 登
- 浦口 高典
- 片桐 章浩
- 長坂 隆司
- 楠本 文郎
- 中 拓哉
- 多田 純一
- 中西 徹

審議内容

県の予算を総合的に審議します。

議会運営委員会

(定数12人)

令和4年6月3日 選任、令和4年6月10日 就任

- ◎ 新島 雄
- 中本 浩精
- 井出 益弘
- 森 礼子
- 濱口 太史
- 富安 民浩
- 吉井 和視
- 山田 正彦
- 尾崎 太郎
- 片桐 章浩
- 高田 由一
- 岩井 弘次

審議内容

議会の運営に関する事項や議会の会議規則、委員会条例に関する事項等について調査審議します。

◎委員長 ○副委員長

常任委員会

令和4年6月3日 選任、6月10日 就任

総務委員会

(定数7人)

- ◎ 山家 敏宏
- 川畑 哲哉
- 尾崎 要二
- 新島 雄
- 尾崎 太郎
- 片桐 章浩
- 高田 由一

審議内容

- 県財政
- 危機管理
- 文化振興 など

所管する部局

知事室・総務部・企画部・会計管理者・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員など

福祉環境委員会

(定数7人)

- ◎ 浦口 高典
- 鈴木 太雄
- 堀 龍雄
- 中西 峰雄
- 岩田 弘彦
- 奥村 規子
- (欠)

審議内容

- 福祉・子育て
- 高齢者・障害者施設
- 産業廃棄物対策 など

所管する部局

環境生活部・福祉保健部

経済警察委員会

(定数7人)

- ◎ 北山 慎一
- 谷口 和樹
- 藤山 将材
- 井出 益弘
- 濱口 太史
- 山下 直也
- 岩井 弘次

審議内容

- 観光
- 産業・雇用
- エネルギー
- 交通安全・治安 など

所管する部局

商工観光労働部
公安委員会・労働委員会

農林水産委員会

(定数7人)

- ◎ 鈴木 徳久
- 玄素 彰人
- 玉木 久登
- 谷 洋一
- 藤本真利子
- 長坂 隆司
- 中西 徹

審議内容

- 農業・林業・水産業の振興 など

所管する部局

農林水産部・海区漁業調整委員会・内水面漁場管理委員会

建設委員会

(定数7人)

- ◎ 佐藤 武治
- 宇治田栄蔵
- 森 礼子
- 富安 民浩
- 吉井 和視
- 楠本 文郎
- 中 拓哉

審議内容

- 道路網・港湾設備
- 治水・砂防事業
- 都市政策・公園・建築 など

所管する部局

県土整備部・収用委員会

文教委員会

(定数7人)

- ◎ 多田 純一
- 秋月 史成
- 中本 浩精
- 山田 正彦
- 坂本 登
- 杉山 俊雄
- 林 隆一

審議内容

- 学校教育
- 生涯学習・文化財
- スポーツ振興 など

所管する部局

教育委員会

TOPICS | 議会活動の紹介

関西広域連合議会 6月臨時会

6月25日(土)、関西広域連合議会6月臨時会がNCB会館(大阪市)で開催され、一般質問に堀龍雄議員が登壇し、関西広域連合が策定を進めている第5期広域計画のほか、関西地域での新たな産業の育成や新たな広域観光周遊ルートについて質問しました。特に産業については、2025年に開催される大阪・関西万博や和歌山県串本町に完成予定の全国初の民間小型ロケット発射場などを契機として、関西各府県市の優秀な試験研究機関や、技術力を持った中小企業などの力を結集して新しい産業を生み出し、育成することが関西の発展につながるのではないかと質問しました。また、広域観光については、万博を大きなチャンスとして、関西の豊富な歴史や文化のほか、織物や酒造、農業、ロケット産業などを身近に体験できるツアーを取り入れ、産業との連携を図った広域観光周遊ルートの造成を考えてはどうかと質問しました。

これに対し、広域産業振興担当の吉村洋文大阪府知事からは、域内公設試による技術的支援を強みに、企業の研究段階から事業化までを支援する広域的プラットフォームの構築に取り組みとともに、最先端の技術開発にチャレンジする企業を後押しすることで、産業の育成を行い、関西圏域の活性化につなげていくとの答弁がありました。また、広域観光・文化・スポーツ担当の西脇隆俊京都府知事からは、万博来場者に関西各地を周遊してもらえよう造成した広域周遊観光ルートの中には、伝統産業の体験を盛り込み、さらには、歴史的、文化的なテーマやストーリーでつなぐ新たな観光ルートの開発も進めているところであり、今後は、関西各地のものづくりなどの産業資源も掘り起こし、観光ルートに盛り込んでいきたいとの答弁がありました。



堀 龍雄 議員

関西広域連合議会議員

6月25日(土)に開催された関西広域連合議会6月臨時会において、和歌山県議会の井出益弘議員が関西広域連合議会第13代議長に選出され、同日、就任しました。また、和歌山県議会6月定例会において、堀龍雄議員、奥村規子議員、林隆一議員の3名が関西広域連合議会議員として新たに選出されました。



井出 益弘 議員
関西広域連合議会議長



堀 龍雄 議員
関西広域連合議会理事



奥村 規子 議員



林 隆一 議員

INFORMATION | 県議会からのお知らせ

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

▶ テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより(予定)

開会日、質問日、閉会日の22時から25分間放送
(9月定例会の放送 9/8、15、16、20、21、28)

県議会手話だより(予定)

閉会日の約2週間後に、22時から30分間放送
(9月定例会の放送 10/11)

▶ ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト(予定)

開会日、質問日、閉会日の21時30分から15~30分間放送
(9月定例会の放送 9/8、15、16、20、21、28)

県議会ホームページ

和歌山県議会

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/cms/www/index.html>



● 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

令和4年9月定例会 会期日程(予定)	
本会議	9月8日(木)
本会議(質問)	9月15日(木)、16日(金)、 20日(火)、21日(水)
常任委員会	9月22日(木)・26日(月)
本会議	9月27日(火)・28日(水)

※要約筆記をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

「点字版、CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。



和歌山県議会

Instagram始めました

和歌山県議会では、県民の皆様に関議を身近に感じていただくため、議会の主な動きや委員会活動、広報誌やTV・ラジオの放送予定などの情報を発信します。

※なお、リプライ(返信)には対応しません。
また、通信にはパケット通信料が発生します。
あらかじめご了承ください。



クイズ&プレゼント

応募方法

はがきに、(1)クイズの答え「〇〇〇〇〇〇」、(2)〒住所、(3)氏名、(4)年齢、(5)電話番号、(6)「わかやま県議会だより」のご感想を記入のうえ、**8月29日(月)〈消印有効〉**までにご応募ください。

応募先

〒640-8585(住所不要)
県議会事務局「クイズ&プレゼント係」

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
※皆様の個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。